

# ふるさと「とみか」が好きな子を育てる 地域学校協働活動

富加町教育委員会

## 1 はじめに

富加町は、人口約 5,860 人、4 km 四方の小さな町で、近年は転入者で人口が微増しており、少子高齢化の日本の中ではまれな町である。国史跡となった夕田茶臼山古墳や 1,300 年前の戸籍が正倉院に残されており、古くから人々の営みの続く歴史のある町である。

2020 年の学習指導要領改訂にともない、富加町においても富加小学校をコミュニティ・スクールとして、学校と地域がパートナーとなり、相互に連携・協働し、様々な活動に取り組むことにした。そこで、ふるさと「とみか」が好きな子を育てたいという願いをみんなで共有し、「ありがとう」を合言葉に地域人材や環境を活用して地域学校協働活動を行っている。

## 2 実践

### (1) コミュニティ・スクールの組織図

共通の願いを具現化するため、右図のような組織を考えた。地域全ての人が富加小学校コミュニティ・スクールサポーター（CS サポーター）として、地域学校協働活動に加わり参加するというイメージで、今まであった活動を生かし、「安心・安全部」「学び部」の 2 部会制としている。

令和 4 年度には、全世帯にお便りを配布し、CS サポーターを広く募集した。

現在、個人の CS サポーターは 80 名、団体は約 10 団体で 60 名ほどが登録している。



図-1 組織図

### (2) 具体的な取組

#### ① 安心・安全部

CS サポーターが、毎日の登下校に付き添い、見守り活動を行っている。温かい声をかけたり、話を聞いたり、なだめすかしたりしながら、子どもに寄り添った取り組みを行っている。そして、安心・安全を支えているだけでなく、時には子供たちの学校や家庭での悩みも相談できる関係となっている。



写真-1 見守り活動

活動の区分	主な内容
安心・安全部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校の見守り活動、あいさつ活動</li> <li>・校庭の草刈り、草取り、花壇整備など</li> <li>・校外学習の補助</li> </ul>
学び部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科(書写、ミシンの操作、調理実習補助、そろばんの補助、理科の実験準備・補助、版画・工作学習補助など)</li> <li>・生活科、総合的な学習(農業・産業学習の指導、地域の伝統・文化の紹介、よさこい指導など)</li> <li>・読み聞かせ</li> <li>・CS サポーター主催の講座</li> </ul>



図-2 活動内容

写真-2 ザリガニ釣り

## ② 学び部

### ア. 教師が主体の授業のサポート

家庭科や書写等での技術サポートや算数の授業での練習問題の見届け、クラブ活動のアドバイス等を行い、CS サポーター自身が子供たちと一緒に楽しんでいる。

### イ. 講師としての授業のサポート

総合的な学習の時間や理科、社会、生活科等に、CS サポーターが地域講師として主体的に授業を行う。昨年度は 31 回の授業を行った。

### ウ. CS サポーター主催の講座

夏休みや冬休みに、公民館講座とは別に CS サポーターによる講座を行っている。

「学習広場」「手話教室」「手芸教室」「野外塾(デイキャンプ)」「編み物教室」等である。

## (3) 地域学校協働活動支援員の配置

富加町では、以上のような活動をするにあたり、教育委員会に事務局員として「地域学校協働活動支援員」を置き、地域・学校・家庭・行政のパイプ役として重要な役割を果たしている。学校の教務主任が計画する時間割(授業内容)を受けて、CS サポーターと LINE グループを通して出欠を確認し、学校と連絡をとりあっている。

## 3 成果と課題

- ・活動に参加した若い親世代の CS サポーターが、そのよさを実感し友達等に勧めてもらえたおかげで、登録者が徐々に増えている。
- ・活動に参加した CS サポーター同士が、回を重ねるにつれ親しくなり、子供たちはもとより、互いの繋がりが深まってきている。
- ・公民館との連携がまだ深まっていないため、願いを共有しつついろいろな行事を通して、更なるつながりを図っていききたい。

## 4 まとめ

この活動を通して、大人はやりがいを感じ、子供たちは自分たちが大切にされていることを実感しつつ、ふるさと「とみか」を愛する心が日々育まれていると考える。これからも、学校を核として今まで以上に地域の人が強くつながる機会を作り、子供たちや地域住民がきらきらと輝ける町づくり、地域の活性化を一層図っていききたい。